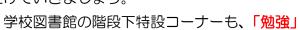
としょかんだばり ・



3学期スタート!

2025年がスタートしました!3学期は、今年度の総まとめでもあり、次年度の0学期でもあります。つまり、自分自身の「これから」に関わる重要な時期。3年生にとってはいよいよー般入試の正念場。そして1・2年生は、次年度に向けての土台作りの時期です。進路に関係する本や基礎固めの参考書など、これからにつながる本を読み、自分たちで充実した3学期を創り上げていきましょう。





関連の本を並べました。「勉強」といっても難しい本ではなく、学びの入口になる楽しい本ばかり。勉強が苦手な人・嫌いな人でも読みやすい本がたくさんあります。ぜひ手に取ってみてください!

1/20(月)~1/24(金)面談読書週間

3 学期の面談読書週間は、1 月 20 日~24 日の 1 週間です。次年度に向けて、これからについて、 担任の先生とじっくり話をしましょう。待っている間も落ち着いて読書できるのがこの面談読書週間の いいところ。普段は忙しくて本を読む時間が無い人も、1 日 30 分の読書タイムを有効に使って、読み たかった本を読破できるといいですね。進路関係の本を読むのもおすすめです。

なお、<u>面談読書週間は、学級文庫を設置しません</u>。各自で読みたい本を用意してください。手元に読みたい本が無い人は、当日昼休みまでに図書館に本を借りに来てくださいね。

↓職業調べに! なるには Books シリーズ



↓どんなことが学べる?大学学部調ベシリース



→高校の授業がどう活きる? 教科と仕事シリース



↓まずは漫画から!



今年も開催!函南町立図書館「本のお楽しみ袋」



本校では、函南町立図書館との共同活動をいくつか行っています。その一つが、この「本のお楽しみ袋」。 本校の図書委員がテーマを決めて選書した本を、福袋のように中身が見えない状態にして、函南町立図書館で貸し出しました。高校生ならではの感性で選んだこの「お楽しみ袋」、大好評とのことです!

このように、地域の公共図書館では、季節にあわせた企画やイベントを行っています。 蔵書量も非常に多いので、公共図書館にも足を運んでみてくださいね。

この時期ならではのおすすめ本!

先日、第172回芥川賞、直木賞の選考会が行われ、芥川賞には安堂ホセさんの『DTOPIA』と鈴木結生さんの『ゲーテはすべてを言った』の2作、直木賞には伊与原新さんの『藍を継ぐ海』が選ばれました!受賞作の図書館への配架はあと少しお待ちいただきますが、安藤ホセさんのデビュー作『ジャクソンひとり』や、昨年夏の読書感想文課題図書であり、ドラマ化もされた伊与原新さんの『宙わたる教室』は図書館にあるので、まずはそれらから読んでみてはどうでしょうか?

他にも、冬のミステリランキングを総なめにした、青崎有吾さんの『地雷グリコ』もおすすめ!この本は、

